

コリアン・マイノリティ研究会

第206回月例研究会

朝鮮人空襲犠牲者を

私たちは追悼しているのか？

ぶんやよしと
文箭祥人(ジャーナリスト、文庫運営委員)

1945年3月13日、多くの朝鮮人が暮らす大阪を米軍は空爆した。その後も空爆は続いた。1942年末時点で大阪府に約4万人の朝鮮人が暮らしていた。いったい何人の朝鮮人が空襲で亡くなったのか。戦後、追悼してきたのだろうか。

戦後76年の今年3月13日、歴史研究者や弁護士、ジャーナリストらがメンバーの「大阪空襲75年朝鮮人犠牲者追悼集会実行委員会」が追悼集会を開いた。開催に向け、実行委は朝鮮人空襲犠牲者の名簿作成や朝鮮人空襲体験者への聞き取りに取り組んだ。これは、大阪空襲の記憶継承の空白とされた歴史をうめる運動だ。実行委が作成した犠牲者名簿には159人の名前が記載された。そのうち50人は10歳未満だ。体験者8人の聞き取りを行った。そこには、「創氏改名」の壁や体験者発掘の困難があった。

他方、大阪府や市、公益財団法人大阪国際平和センター（ピースおおさか）はいずれも朝鮮人空襲犠牲者の人数を把握していない。さらに、追悼について府市は、8月15日に開催する大阪府戦没者追悼式で「朝鮮人・日本人に関わらず、すべての戦争犠牲者を追悼する」と言うが、そもそも追悼式に犠牲者名簿は存在しない。また、平和資料館である、ピースおおさかは「創氏改名」の歴史展示に関して後ろ向きの姿勢をとっている。

実行委の運動を紹介しながら、大阪空襲での朝鮮人被害、そして追悼に関して報告したい。

参考資料：文箭祥人（2021）「朝鮮人空襲犠牲者を私たちは追悼しているのか—「大阪空襲76年朝鮮人犠牲者追悼集会」から考える」『部落解放』2021年7月号 807号

日時:2021年10月30日(土)17:00~19:00

場所:猪飼野セツパラム文庫 090-9882-1663 masipon@nifty.com

近鉄「大阪上本町駅」から8分・地下鉄「谷町九丁目駅」・環状線「桃谷駅」から10分、環状線・地下鉄・近鉄「鶴橋駅」から15分

参加費:800円・会員600円・学生以下無料 どなたでも大歓迎！【要予約】

主催:コリアン・マイノリティ研究会 <https://sepparam-bunko.jimdo.com>

◎「映像で見る朝鮮韓国在日」第63回上映会（資料上映）

「大阪と朝鮮人強制連行」（1991年、40分、企画：大阪朝鮮人強制連行真相調査団）ほか

日時:10月23日(土)18:00~20:00 場所:猪飼野セツパラム文庫 参加無料(カンパお願い)・定員10名

猪飼野セツパラム文庫では会員（図書貸出1000円・一般6000円・維持1万円）・ボランティアを募集しています。